

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 24 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 7 月 22 日 作成

事務事業名		議会活動ホームページ掲載事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	議会事務局	課長名 出口 増穂
	施策	23	開かれた議会づくり			所属課	議会事務局	担当者名 財津 公正
	基本事業	79	開かれた議会の推進			所属班	議会班	(内線) 1311
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 : 6 コスト削減優先度評価結果 : 9
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	合志市発足と同時に市のホームページが開設されたことに伴い、議会情報も掲載し運用を開始した。高度情報通信ネットワーク社会形成基本法等の法整備も進み、また、パソコン等の普及も急激に進んでいることから、今後、利用者の利用目的も情報の入手から、各種手続きの受付等を行う双方向のサービスへ発展してきている。
【業務の流れ】	議会概要、議会からのお知らせ・お願い、議員名簿等を掲載している。また、定例会、臨時会の開催内容、審議結果、会議録を掲載し随時更新している。
【主な予算費目】	委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	タイムリーな情報の提供を望む声がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
議会の概要、議会からのお知らせ・お願い、議員名簿等を掲載している。また、定例会の日程や一般質問の内容、審議結果、会議録、議会だよりを掲載し随時更新している。	22年度においては23年度以降にインターネットによる本会議中継を実施するための検討を行う(費用対効果の検証、議員の意見の集約等々)。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 情報数	件 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
ホームページ閲覧者	⇒ ア アクセス数 回(人) ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
誰もが議会事務局に来ることなく情報を入手できる	⇒ ア ホームページに掲載されている議会情報を見たことがある割合 % ⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
市民に議会情報を周知する手段のひとつとして合志市ホームページを活用し、定例会日程等を掲載していることから、閲覧状況を成果指標としている。目標値設定については、自治基本条例の制定に伴い議会活動が活発化することが予想されることから、市民の関心も高まるものと考え、平成27年度には7%とした。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込	
④ 活動指標	ア	件	36	20	20	24	21	21	20	
	イ									
⑤ 対象指標	ア	回(人)	1,236	1,001	1,100	1,000	1,100	1,200	1,300	
	イ									
⑥ 成果指標	ア	%	4	4	5	4.2	5	6	7	
	イ									
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	892	831	874	834	874	874	874
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	892	831	874	834	874	874	874
		(A)のうち指定経費	千円							
		(A)のうち時間外、特勤	千円							
		正規職員従事人数	人	4	3	3	3	3	3	3
延べ業務時間	時間	500	390	500	360	360	360	360		
(B)人件費計	千円	1,985	1,560	1,990	1,433	1,433	1,433	1,433		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,877	2,391	2,864	2,267	2,307	2,307	2,307		

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	0
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0

事務事業名	議会活動ホームページ掲載事業	所属部	議会事務局	所属課	議会事務局
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

有効性について・・・会議録検索システムについてはホームページ掲載まで4ヶ月程度の期間を要しており、情報提供の遅れに課題がある。しかしながら、課題改善は非常に困難な状況にある。掲載の手段(検索システム)を根本的に見直すことで、ホームページ掲載までの時間的な問題はクリアできると思うが、議事録検索を行う際の利便性は失われる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 検索システムの操作性の改善及びホームページ掲載までの時間的な改善については、事務局職員の時間外での対応に拠らざるを得ない。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			△	低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上			○																	
	維持			△																	
	低下			×																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
市民が望む情報の把握が必要である。